

リイド社  
八月薰全集



第8卷 「健全な肉体と猥褻な精神」

EP01  
憧れの奥さんの深い穴



八月薰全集 第8巻

「健全な肉体と猥褻な精神」

contents

憧れの奥さんの深い穴……3

快感シャワールーム……23

美尻奥さんの食い込むアソコ……39

フリークライミングの女……55

愛欲エクササイズ……71



憧れの奥さんの深い穴



メールを打つて  
フリをして奥さん  
を撮った  
写真画像  
……  
ハア……  
ハア……



そして  
いけないこと  
思いつつも……



その画像を  
おかずに  
俺は奥さんへの  
悶々とした想いを  
オナニーで発散して  
いたんです

うっ



大人の魅力と  
いうんでしょうか

俺は  
この奥さんに  
かなりハマって  
いたんです



帰りはたまに  
奥さんに乗せ  
家まで送って  
いくこともあり  
ました  
その時はもう  
ドキドキして

俺の母親と  
その奥さんは  
仲が良く



そんな状態が  
もう数カ月も  
続いていました



俺の気持ちか  
気づかれるんじや  
ないかと思つて  
ヒヤヒヤする  
こともありました



キラッ

憧れの奥さんの深い穴



今日は奥さんと  
2人だけ……

奥さんを  
乗せる時は  
いつも母親が  
一緒だったん  
ですが

これは  
初めてのこ  
とでした



嬉しい反面  
それ以上に  
この思わぬ展開に  
俺は緊張  
しました

悪いわね  
今日も  
送ってもらって



いえ……  
帰る方向  
近いですから

女性の良い匂いが  
混ざり合った匂いで……



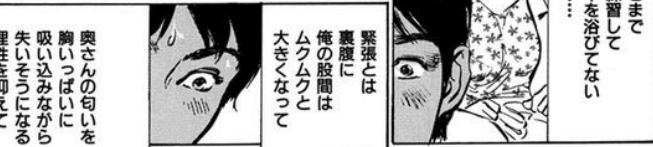
あ

その時  
密閉された  
車内に  
奥さんの匂いが



それはさっきまで  
汗を流して練習して  
まだシャワーを浴びてない  
汗の匂いと……

俺はその匂いに  
刺激され  
奥さんのスカートの中の  
蒸れたアソコを  
想像していました



緊張とは  
裏腹に  
俺の股間は  
ムクムクと  
大きくなって

奥さんの匂いを  
胸いっぱい  
吸い込みながら  
失いそうになる  
理性を抑えて  
いました



そんな日々を  
送っていた  
ある日のこと  
です

いつものように  
俺は奥さんを見るため  
見学していました



練習が終わり  
帰るのかと  
思ったら

俺の母親を  
筆頭に  
酒好きの仲間  
数人と  
この後飲み  
に行く相談を  
していたんです



タカシ  
悪いんだけど  
お母さん  
飲みに行くから  
先に帰って  
いいわよ

えっ  
またかよ  
そーゆーことは  
先に決めて  
おいてくれよ

こーゆーことは  
酒好きの母親には  
よくあることでした

え  
いいの  
かしら

え



それがね  
牧村さんを  
送ってくれ  
ないかしら

せっかく  
待つてんだし





俺は驚いて奥さんを見ました

俺の股間に手を伸ばしたんです

高揚した顔で奥さんは手でしてあげるお母さんには黙っててね

俺は夢を見てるんじゃないかと思いました

信じられませんでした奥さんがこんなことをするなんて

そう言うところジャージの上から俺の股間をこすりはじめたんです



すると今度はパンツの中に手を入れて直に触ってさたんです

すごいこんなに私に感じてくれたんでしょ

すると奥さんが突然……



想像以上だったんだと思います

奥さんはその画像を見て固まっていました

俺はすぐ恥ずかしくて……それに

さつきから奥さんの体が触れていて

香る奥さんの体臭が再び俺を刺激していました



ふりんタカシくんっていけない子だわこんなの撮って下さい

このことお母さんが知らずらビックリしちゃうわよ



すいませんその……母親には言わないで下さい

かしら

あこの画像もすこいわ

母親に知られるなんてそれ以上恥ずかしいことはありません



その時

ビンビンになっている俺の股間を奥さんに発見されてしまったんです

ほんとにいけない子

すいません

穴があったら入りたい心境でした

すると奥さんが突然……

あ

このリアルな感触は夢じゃありませんでした

俺は……俺の……





しゃぶってる  
オッパイも  
少ししゃぶっ  
ばくて

奥さんの大きい体がうねり  
俺は体ごと浮いてしまっ  
たん

ああ

あう

奥さんの体は  
まるで大きな  
女性の山に  
しかみついているような  
感覚でした

ひい

俺は  
そんなにセックスの  
経験がある  
わけではあり  
ません

気持ちいい  
ですか  
奥さん

その言葉は  
とっつても励み  
になりました

あ……  
上手よ

俺は  
奥さんの  
下半身へ

あや……



ああ  
ダメ

もう  
後のことは  
考えられ  
ません  
でした

彼女は  
すごい力で  
抵抗しまし  
た

ですが  
すぐに力を  
緩めたんで  
す

あ

奥さん

奥さんしたい……  
そのことで頭が  
いっぱいだったんです

これが  
奥さんのオッパイ

筋肉質のせいか  
かなり張りのある  
オッパイでした

俺はそのオッパイに  
夢中でしゃぶりつい  
たんです

ああっ

シャワーを浴びていない  
奥さんの体臭が  
奥さんをより生々しく  
感じさせました



スバツに染み込んだ  
奥さんの股間の汗と  
アソコから染み出た  
汁を吸いまくり  
ました



汁でトロトロに  
なった奥さんの  
アソコがヒクヒクと  
動いていました

俺に吸い出された  
汁があふれ出して  
きて



そして  
そのくっしより  
濡れたスバツを  
舐がす



夢にまで見た  
奥さんのアソコを  
俺は思う存分  
しゃぶったんです

奥さんは  
身悶えながら  
俺の手を握むと

ひっ  
俺の指3本  
すんなり入って  
しまったんです

さらさら奥へと  
押し込んだん  
です



スカートをめくると  
練習の時から穿いて  
いたスバツが...

何度も写メで  
撮ったその股間から

汗なのか...それとも...  
上からわかるほど  
染みていたんです



奥さん

あ...や...  
ダメよお  
きたない

俺はそのまま  
上からしゃぶり  
つきました



濃厚な匂いが  
鼻を突きました

ああ  
これが奥さんの  
匂い

吸っちゃ  
だめえ  
ああ  
俺の性本能を  
刺激する  
よさな  
匂いと味



ああ  
タカシくんの  
堅い

あ…すごい  
気持ちいいよ  
奥さんの膣



ああ  
いい

突いてえ  
突いてえ  
堅いので  
突いてえ



奥さん  
もう出る

タマまで  
膣に入ってしまう  
ような気持ち  
良さ  
俺はもう絶頂に  
達して

ああ  
タカシくん

うう



出して  
タカシくんの

私も…

出る

奥さんが  
のけ反るたび  
俺の子○ポは  
ぬかるみの奥  
深くまで挿入  
されました



んあ  
ひ…

奥さんのアソコは  
俺の手首まで  
入ってしまいそう  
なくらいでした

ああっ  
すごいよ  
奥さん

俺の手は  
奥さんの汁で  
ヌルヌル…

俺の手に感じる  
グニョグニョとした  
奥さんの内壁

ああ  
挿れたいよ  
奥さん



そして  
いいよ

ああ

ドロドロに  
なっている  
奥さんの  
アソコへ



う

ねっとりとした液体の中に  
子○ポを突っ込んだような  
挿入感

ああ  
うう

動かたたびに下口下の  
愛液が俺の子○ポに  
ねっとり絡みついて  
きました

ひ

うう

EP02  
快感シャワールーム



ああああ〜

俺は  
憧れの奥さんの  
膣の奥深く  
想いの丈と共に精子を  
放出したんです



それから

その後  
数回奥さんと  
エッチをしました  
ですが  
奥さんのダニにハレミツ  
なり  
それ以来エッチをさせて  
もらっていません

でもたまにメールで  
アソコを写した画像などを  
送り合っています

EP01 / END



ダンナは  
不動産会社の社長で  
けっこうなお金  
持ちで

へえ  
この奥さんも  
同じジムに？

そうなの  
それが

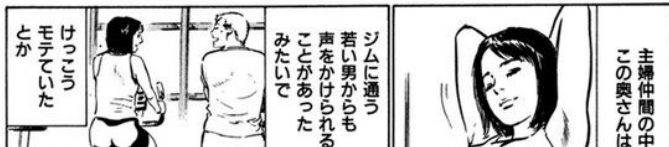
妬みの対象に  
なることもあった  
ようでした

奥さんは1カ月前ほど前  
ジムに入ってきた  
そうです

よろしく  
お願いします



こちらこそ  
よろしくね



主婦仲間の中で  
この奥さんは一番若く



スタイルも良くて  
美人でした

ジムに通う  
若い男からも  
声をかけられる  
ことがあった  
みたいで



けつこ  
モチでいた  
とか



それが奥さんが  
ひがまれる  
原因になって  
しまったそう  
なんです



妻たちにとっては  
おもしろくないかも  
しれませんが

あれだけ美人の奥さんなら  
俺でも放つてはおけないと  
思います



俺は38歳の  
サラリーマンです  
ねえ  
あなた

この前話した  
スポーツジムの噂  
覚えてる？

妻(37歳)は  
近所の主婦仲間と  
スポーツジムに  
通っています  
実はね

例の噂の真相が  
わかったのよ



これは  
俺の妻が体験  
した話です  
真相って？

すいぶん前に  
聞かされた話  
だったので  
忘れかけていたん  
ですが



妻が言う噂とは  
そのスポーツジムの  
25番のシャワー室で  
午後2時に

この奥さんを  
シャワー室に  
入れて  
試しちゃったの  
お



ドアにタオルをかけて  
待っていると気持ちがいい  
ことが起こるといふものだったんです

集合写真の  
妻が指差した先には  
町内で美人だと評判の  
奥さんが写っていました

俺は38歳ですが  
若くして清楚で  
俺も密かに憧れていた  
奥さんでした







え 25番のシャワー室に田中さんを?



そう この中で試した人いないでしょ  
だって... トイレの近くだしなんだか気味悪いもの  
ええ



以前仲間の一人が試しにそのシャワー室を使ってみただそうです



それ以来なぜかジムに來なくなつてしまつたんだとか... 理由を聞いても言葉が濁してはつきりと答われないだそうです



田中さんもう上がりましょう



そのシャワー室は一番奥のトイレ脇にあつて使用する人も少なかつたんだそうです



あーい



思惑通り奥さんはそのシャワー室に入ったそうです  
そしてそつとドアにタオルを掛けて...



まだ胸を知らない奥さんをオカルトチックなその胸を本気で信じてはいなかつたぞうなんです...



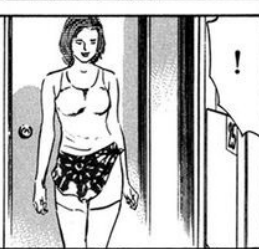
ええ



これで条件は整いました



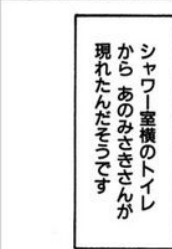
みんな声をひそめて様子を伺つていました



25番のシャワー室で午後2時ドアにタオルを掛けて待つていると気持ちいいことが起こる



その時



シャワー室隣のトイレからあのみささんが現れたんだそうです



そのまま行き過ぎるから思いきや



奥さん見かけによらず好奇心旺盛なのね



うれしいわ



え



何のこと?



なんとその中へ入つてしまつたぞうなんです



あらなにも知らないの



私あなたのこと気に入つてゐるんですもの





ぐいぐい  
ぐいぐい

ああ  
だめ…  
そこは

ひい

みささんは  
奥さんの股間に  
手を伸ばして

アソコを  
まさぐりはじめ  
たんだそうです

水層の脳から  
手を入れて



ああ  
奥さんが感じて  
くれると私も  
すごくうれしいわ

話を聞いてる俺も  
その光景を想像  
したら



濡れてる…  
これ  
シャワーの水とは  
別のものね

そんなこと



ん…

アソコが  
キンキンに  
なってます  
ました

まさぐられていま  
そこからほ  
しだいにいやらしい  
音がはじめた  
んだそうです



そして  
みささんも  
服を脱ぐと

オッパイも  
形が良くて

アソコ以外は  
完全に女  
だったそうです

そこには見事な  
女体が現れたんだ  
そうです



むき出しにされた奥さんの  
オッパイもすく大きくて

さらに激しく  
揉みだかれてたんだ  
そうです



あ  
や…  
ああ

今まで  
抵抗していた  
奥さんの表情も  
しだいに感じて  
顔に変化して  
いって

そして





EP03  
美尻奥さんの  
食い込むアソコ



そして  
タネ無しの  
サイメンを  
中出しされ

あぁあ

2人は体を  
ケイレンさせて  
イッてしまったん  
だそうです



妻たちも  
もう  
くったり

黙って  
その場から  
立ち去った  
そうです



ねっ  
すごいでしょ

あー  
スッキリした  
もう誰かに  
話したくて  
ウズウズしてたの

それから  
奥さんとみさきさんは  
たまたまシャワー室で  
エッチをしているみたいで

妻の仲間の一人も  
みさきさんに相手を  
してもらったそうです…

俺は妻に早く  
そのジムを辞めるように  
説得しています

あぁ…



なんといっても

その大きなムネは  
ウエアの上から突起が  
うっすらと浮いていて…

まだ絞りがきれて  
いない ムチムチの  
そのお尻には  
たまらないものが  
ありました



どこの奥さん  
だろう…

たぶんこの地区に  
住んでいることだけは  
想像していたん  
ですが…



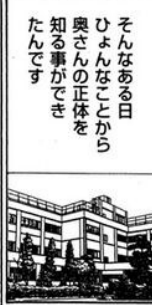
一度でいいから  
あんな奥さんと  
ヤってみたい

そんな妄想を  
抱く事が  
この時の俺の  
楽しみだった  
んです



その日は息子が通う  
小学校の授業参観でした

その朝 妻の母親が  
階段から落ちてしまったんです  
幸い大したことはなかったよう  
なんです 妻が付き添いで  
一応病院に行くことになり  
仕方なく俺が授業参観に  
行くことになったんです



そんなある日  
ひょんなことから  
奥さんの正体を  
知る事ができ  
たんです



俺は田中治(仮名) 43歳の都内に住むサラリーマンです

これは昨年の出来事です

俺には妻と子供がいるんですが結婚して十年目 倦怠期を迎えていました



それは朝の出動の途中…



そんな俺ですがこの頃ある奥さんのことが気になっていました



歳は三十代前半くらいに見えました

上品な感じがする美しい人でした

それなのに いつもピタリしたウエアを着ていたんです



この時間に休日 平日問わずジョギングしている奥さんがいたんです



名前が白石(仮名)とわかり家へ帰ってから名簿を調べると

白石 友美 世  
左藤 江  
高木 裕

わりと近所に住んでいることがわかったんです

もっとお近づきになりたい

そして俺は思い切って奥さんに声をかけてみることにしました

そんな日々を重ねるうちに奥さんへの想いがどんとついついってんです



その思遣いはセックスを連想させました

奥さんの汗ばんだ体から漂ってくる体臭も俺の欲望を掻き立てたんです

走りながらもチ○コはもうビンビンになっていて



何よりこんな奥さんがいるダンナをすくく羨ましく思っただんです

出張?

ええ 来週から



主人は月の半分は家に居ないの

それに かこつけて子供を両親に預けて一日中走りたりする こともあるんですよ

ダンナが出張...これはチャンスだと思いました

だ... だったら どうでしょう

来週 都心まで 出かけてみませんか?

え



あ いいですね 私も一度あそこで走ってみたくっただんです

奥さんはOKしてくれました

これでジョギングを口実にデートができる

ほら ランナーがお堀のまわりを走ってる有名な所です



いや 奇遇ですね こんなところで会うなんて

しかも ジョギングの 趣味も一緒 だなんて

まあ 俺は最近 始めたばかり ですけど

よかつたら そこまで一緒に 走りませんか ?



ええ 喜んで

うれしいことに これをきっかけに 奥さんと週末

時間を合わせて一緒に走る事ができるよつになっただんです



奥さんは だいたい30分は 走っていました

それも この奥さんの ムッチリした体を 眺めたい一心だったからです

それに 走っているときの 奥さんの顔は とても気持ち良さそう な表情をしていて...

おかげで俺の体力は なんとか奥さんに ついていける程度には なっただんです



早くも  
俺のチ○コは  
勃起してしま  
いました

それに奥さんは  
今日のために  
新調したのか  
……

ウエアは  
より一層体に  
フィットしたものだっ  
たんです

ああ  
この後ろ姿  
たまんねえ

そう思ったのは  
俺だけじゃないみたいで

俺たちを追い抜いて  
いくベテラン  
ランナーたちも  
奥さんのことを  
チラ見していったんです

俺が勃起するくらいだ…  
男ならこのムチムチの尻に  
反応しないヤツはいない



翌週  
待ちに待った  
この日

俺は車を出し  
奥さんを乗せて  
都心へ向かったん  
です

妻には会社の同僚と  
ジョギングクラブを作っ  
たと嘘をつきました

助手席に  
妻以外の  
女性を乗せ  
たのは何年  
ぶりか！

俺は  
逸る気持ち  
を抑えつけて  
目的地へ  
向かったんです

こんな  
早くから  
もう走って  
ますね

ええ

じゃあ  
俺たちも走り  
ましようか

準備運動  
してからじゃないと

あ  
待って







全身に  
この上ない快感が  
広がりました

ヌルヌルのマ○コの中は  
蜜壺のようで  
チ○コをまったりと  
包み込んできたんです



奥さんに  
挿入できた  
喜びと

すげえ  
いいよ奥さんの  
マ○コ

奥さんも  
あの美しい顔を  
歪ませて

俺のチ○コで  
善がりまくる  
奥さんの姿と  
マ○コの気持ち良さ

あふ  
はうう  
ああ  
ちようだい  
ちようだい  
出ろ  
出ろ  
出すよ



俺のチ○コは  
限界まで勃起して  
いました

それは  
なにもチ○コに触れ  
なくても発射して  
しまいそうな  
くらいだったんです

ああ 奥さん…  
俺もう…

ノーバンのスパッツを  
すり下げると  
滴るくらいの汁が  
糸を引いて溢れ出し  
たんです

ああ…

奥さん  
ほんとは  
ビチビチの  
スパッツ穿いて  
見られるのが  
快感だったん  
でしょ

ああ  
言わない  
で

俺は、ギンギンのチ○コを  
奥さんのグチヨグチヨのマ○コに  
一気に挿入したんです

んああ!  
おお



EP04  
フリークライミングの女



イクう~~~~  
んぐああああ

ううっ

奥さんのマ○コに  
思いの丈と共に  
離出したんです



それから

今です奥さんと  
月2回〜3回  
会っています

乳首を立てて  
ヒチビチのスパッツで  
走っている女をみかけ  
たらとんや  
視線でやっつけて下さい

EP03 / END



びっぴりした  
ハーフパンツに  
中のパンティファインが  
うっすらと浮かぶ

ソボだなア  
このヒップ  
ライン

そして  
とても30代には  
見えない若々しい  
肉付きが服の上から  
でも分かりました

ついつい目が  
彼女を追って  
いました

八キ八キした  
彼女の明るさや  
話を聞いてくれる  
時の落ち着いた  
優しさにだんだん  
惹かれていきま  
した



当時から  
景気が良かった  
医療機器メーカー  
の事務職に就く  
年上の彼女に  
今の暮らしにマン  
ネリを感じていた  
俺は、仕事の事  
などいろいろ相談  
するようになった  
んです

そう思った瞬間  
嫉妬している自分に  
気づきました

たぶん  
男だろうな

ある日  
いつも通りシムの  
終了後、話していたら  
突然彼女の携帯が  
鳴りました

あ  
ちよっと  
ゴメン



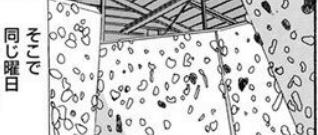
松田弘(仮名)  
31歳の会社員です

これは今から  
3年前の話です

AGE SPORT  
ふとしたきっかけで  
フリースタイルの  
ジムに通い始めたんで  
す

当時それまで  
4年付き合ってた  
彼女と別れ、別段  
打ち込む趣味もなく  
週末やる事も  
なかった俺は...

ここで  
同じ曜日  
同じ時間に  
なる事が多い  
女性と知り  
合いました



あつ

大丈夫  
ですか

大丈夫  
ありがとう

ええ...

それが当時の俺より  
4つ上の32歳だった  
岡部由美(仮名)でした

身長は低めでしたが  
小さい顔や細めの手足で  
背の低さは感じさせず



さつさと切った方が  
イイっすよ  
そんな男

酔って気が大きく  
なっていた俺は…

彼女の為を装って  
始終自分をアピール  
していました

今思えばかなり  
恥ずかしいのですが  
どうやら彼女も  
まんざらでもない  
様子だったんです



いつのまにか  
終電も近い  
時間になり  
ふらつく足取り  
の彼女を駅まで  
送りました



階段では  
少し後ろによろけ  
る場面も…

俺は後ろから  
支えましたが

その時に触れた  
彼女の肌の感覚が  
忘れられませんでした

このまま帰さなく  
てもいいんじゃないかと  
思った矢先に 彼女の  
携帯が鳴りました



電話を終えて  
戻って来た彼女は  
少し浮かない顔を  
していました

この日は土曜で  
2人も明日は休み  
ダメ元で彼女を食事に  
誘ってみました

お酒もすすみ  
先ほどの電話の  
話になりました

男女関係に  
トラブルを抱えて  
いるんだらうと  
思ってた



最初はそれで  
良かったの  
彼に家庭が  
あったとしても

何と  
40代男性と  
不倫している  
とのこと

もちろん別れよう  
とも思ってたんだけど

何だかズルズルと  
続いちゃって…



いけないとは  
分かってるんだけど  
離れられないんだよね

酔った彼女はそれまでの  
ハキハキしたイメージとは違い

憂鬱なエロさと  
気持ちいい事に流されがちな  
スキのようなものが同居して  
いました











EP05 愛欲エクササイズ



俺は彼女の腰に  
発射したんです

ううっ

んがああ

ぐはああ

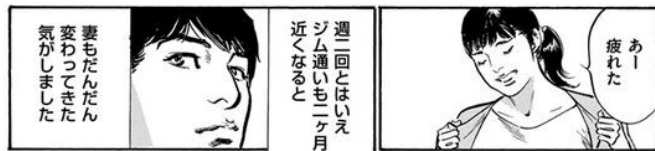
彼女を体をビクビクと  
ケレンさせて  
ついにイッてしまった  
よかったです

その後しばらく  
彼女と付き合いましたが  
彼女の浮気でこの関係  
は終わりました

セックスの誘惑への弱さと  
淫乱さが結局は俺との  
関係にも響いたんです

EP04 / END

















んがあああ

んぬあく  
ダメエ

イグ  
イグウく

ひく

ひく

ひく



おお...

ここまで燃え上がった  
セックスはもしかしたら  
初めてかもしれません

その後妻とは和解し  
ジムは解約させました

おま

今でもたまたま  
あの時の事を思い出し  
妻を責めつつ  
夜を楽しんでいます